

表紙画像について…… 盛丘 由樹年
「城ヶ島の海岸」 2016年5月29日撮影

神奈川県三浦半島の南端に城ヶ島がある。三崎漁港のある対岸から約300メートル離れている島だが、1960年に建設された城ヶ島大橋で結ばれており、交通の便もよく、部分的に観光地化されている。

東西に長い島で、約1.8キロメートルあるから、広々としている。特徴的な海岸の岩畳は、関東大震災のときに隆起したものだという。子どもなどが磯遊びするのにちよūdよい砂浜もある。この日は5月だったが、ここではもう夏だった。

灯台、歌碑、洞窟があったりして、興味深い場所だ。空に、ミサゴらしい猛禽類が悠然と飛んでいる姿が見られる。写真では遠くに、名所のひとつ「馬の背洞門」が見えている。近くに〈危険〉の立て札がいくつかあるのには興ざめだったが……。

「みなせ」文芸の会要項

1 会員制

入会の資格等は、特にありません。執筆掲載希望の方、および購読希望の方であれば、どなたでもいつでも入退会できます。

2 年間会費

入会時と年次に千円を事務局に納入願います。

(懇談会の席で、直接納入でも可)

3 掲載負担金(一頁、原稿約2.5枚につき)

電子文書 400～500円(発行時にかかった費用により確定)

手書き原稿も可能ですが、電子文書の±100円高となります。

4 掲載内容

小説、評論、随筆、詩歌など文芸作品に限りません。

5 年4回発行(季刊)

発行の数週間後に、合評・懇談会を主に神奈川県内で開催します。

6 問い合わせは事務局まで、奥付参照。

編集後記

前年12月に本誌の創刊からの主要メンバー橋本茂氏の訃報（12月2日永眠、83歳）が届きました。82号・文学エッセイ「ネオリアリズム」の提唱」が最後の投稿でした。ご冥福をお祈りします。これで、この会には第一世代のメンバーが一人もいなくなりました。でも、我々は、彼らが引いてくれたレールにのって走っているわけですから、恩義を感じます。（T.O）

「お知らせ」

- ・新会員を募集しています。お問い合わせは事務局へ。ホームページについては、以下のサイト、<http://minasebungei.web.fc2.com>を訪問してください。
- ・ホームページの検索は『みなせ文芸』で可能です。第47号からのバックナンバーをこちらで読めるようにしています。

「会員へ」 本号の合評・懇談会は2月下旬を予定しています。詳細は別紙・会合の案内を参照してください。また、今後に掲載しようとする原稿は、以下に示します締切日までにご用意下さい。

「次号の予定」

原稿締切日	発行予定日
86号	20年3月25日
	20年5月1日

みなせ 第85号

発行日 2020年2月1日発行

発行者 みなせ文芸の会

<http://minasebungei.web.fc2.com/minase.html>

編集／事務局 岡森 利幸

〒257-0013 秦野市南が丘5-3-16

Tel/Fax 0463-83-0279

e-mail t-okamori@plala.to

製本 社会福祉法人神奈川県厚生協会 貴峯荘

〒254-0064 平塚市達上ヶ丘1-9